

平成24年度地域力再生プロジェクト支援事業交付金「ソーシャル・ビジネス枠」第2回 支援一覧

単位:千円

No	地域	団体名	代表者	主な活動種類 地域力再生の視点	事業概要	採択額
1	山城	ほっこりふグループ	まつもと まさよ 松本 雅代	地域産業おこし	町内の女性が地元産農産物を利用して加工食品を製造・販売することによって、地域の活性化と地元農産物のPRを図り、地域女性や高齢化農家の生き甲斐づくりを目指す。	1,500
2	山城	社会福祉法人 宇治田原むく福祉会	とどう 喜実 藤堂 寛見	地域産業おこし	宇治田原町ともに創るまちづくり推進協議会「柿酢プロジェクト」のもと特産品である「古老柿」づくりに利用されなかった柿を原料とした「柿酢」製造・販売することによって、新たな地域ブランドの確立・町内農産物の活性化と障がい者の就労支援や生きがいづくりを図る。	403
3	山城	一般社団法人 マキシマネットワーク	はやしよしひこ 林 義彦	地域福祉補助活動	現在展開しているコミュニティ・レストラン事業の延長線上として、親の留守家庭や高齢者家庭など、食事の困難な家庭向けに配膳、配食サービスを行いながら地域で見守ることで、個々の世帯だけで抱えている問題の地域での解決を目指す。	912
4	南丹	特定非営利活動法人 美山里山舎・壬生京町家	やまぐち まさお 山口 政夫	地域産業おこし	地域の天然資源を活かした地域滞在・体験型コンテンツを提供することで、都市・山間地交流を促し、都市居住者、特に定年退職者の生き甲斐づくり、子どもの環境・情操教育を実現し、自然エネルギーや地域固有の資源・文化を活用した持続可能な中山間地のモデル地域としての発展を図る。	1,500
5	南丹	美山ホンモロコ生産組合	おおまき しゅういち 大牧 祥一	地域産業おこし	ホンモロコ養殖により、休耕田の再生と地域の特産品化、地域の町おこしとしての食材認知により、雇用促進、定住者の確保を図る。	764
6	南丹	下大久保梅林事業運営委員会	にしだ はじめ 西田 肇	地域産業おこし	地域おこしとして梅林整備を進めてきたが、平成26年に収穫期を迎えることから、梅加工場を整備することで、梅に付加価値を持たせた地域産品づくりと、その他地域産品によって、都市農村交流を行い、修学旅行生の受入れなどにより、地域の雇用創出と活性化を図る。	1,500
7	南丹	社会福祉法人 全国手話研修センター	くろさき のぶゆき 黒崎 信幸	共助型福祉活動	就労機会に恵まれない障がい者や生活困窮者（生保被保護者など）の自立を農作業によって支援するとともに、農村における高齢化や担い手不足によって生じている耕作放棄田畑の活用によって高齢者の知恵や経験から学ぶなど交流を図り、相互に福祉を高める。	1,500
8	丹後	久美浜ブランド推進協議会	ともまつ ゆうや 友松 祐也	地域商業の活性化	人口減少や高齢化、交流客の減少等で不振な商店街等を活性化するため、京阪神都市住民を久美浜ファン（ふるさと住民登録者）として囲い込み、ふるさと便の販売収益等により地域の売上向上を目指す。（ふるさと便の販売により計測的運営を行う。）	1,370
9	丹後	宮津町家再生ネットワーク	はたの 羽田野 まどか	地域産業おこし	老朽化した伝統的な町家を再生し、町家よろず企画室、町家コミュニティカフェ、町家暮らし提案ショップ等への活用と町並みの魅力アップを図ることで、地域の活性化に繋げていく。	1,200
10	丹後	産直組合 京たんご	かわむら よしのり 川村 嘉徳	地域産業おこし	米の生産調整を受け、一部を加工用とせざるを得ないが、利用が進まず、収入も上向かない。その中で、丹後産米の米粉を活用した「米粉粉末ヘルシーカレー」の商品化を図ることで、米の生産拡大を通じて地域の活性化を図る。	400
採択事業計 10件						11,049